



Fukuoka Alumni Newsletter

事務局:〒939-0127 富山県高岡市福岡町上蓑561番地 福岡高等学校内



甲子園出場に同窓生が結集

同窓会会長 大野 洋靖

開校24年目の歴史の浅い福岡高校が、甲子園球場で開催される全国高等学校野球選手権大会に初出場できましたことは、私たち同窓生にとっても「驚き」と「感激」と「喜び」の大変うれしい出来事でした。県代表として普通科単独校の甲子園出場は過去に例がないそうです。県代表となった野球部の皆さんの努力と活躍に敬意を表するとともに、福岡高校の歴史に新たな1ページを加えていただいたことに本当に感謝したいと思います。

シード校や実力のある高校を次々と打ち破る県大会での活躍に、多くの同窓生が心を躍らせ、じっとしてられず球場に駆けつければ、手をたたき、飛び上がり、大声で応援をしている同級生に再会したのではないのでしょうか。全国大会においても、本当にたくさんの同窓生が県内はもちろん全国から甲子園球場に結集し、熱い声援をおくっていました。

同窓会では、後輩達の甲子園出場に短期間でどれだけの支援ができるか心配でしたが、募金活動には本当に多くの幹事、会員の皆さんにご協力いただきました。県大会決勝から

わずか10日後、全国大会2日目の福井商業との試合までに、同窓生名簿の整理から募金依頼書の送付、電話やメールでの同窓生への募金依頼、そして福岡地域の各家庭への訪問など様々な募金活動を行いました。会員の皆さんのご協力により、選手達を無事甲子園に送り出すことができ、選手達も精一杯のプレーをしてくれたように思います。甲子園球場での応援や募金など甲子園出場にご支援をいただいた会員の皆さんに感謝申し上げます。

このたびの甲子園出場は、福岡高校への応援を通じ母校への愛着を思い起こすとともに、同級生や先輩・後輩との再会、そして年齢を超えた同窓生の交流にもつながったように思います。後輩達にもらった同窓生の連携や同窓会活動への参加の機会を今後の同窓会活動にも活かしたいと考えています。

最後に、甲子園出場に当たり、ご支援ご尽力いただきました福岡地域の方々をはじめ県民の皆さんや関係各位に深く感謝申し上げますとともに、今後も福岡高校生の活躍を同窓会として応援していきたいと思っていますので、会員の皆さんのご協力をお願いいたします。

特集

祝!福岡高校野球部



7月28日、福岡高校の県大会優勝が決まった後、29日に同窓会役員会を急遽数名で開催。趣意書の発送を数日で終え、8月1日に再度100人規模の同窓会幹事会を開催し、募金活動、応援の準備等の事項について話し合い、決定をしました。

この度の同窓会の活動をここにご紹介します。



同窓生の力に感謝

校長 杉原 進

「清らかな岸渡の流れ…」8月7日(月)
甲子園球場、グリーンで覆われた一塁側
スタンドで校歌が球場全体に届けと歌わ

れました。あちこちから同窓生の皆さんの「校歌を歌ったのは何年ぶりだろう。いいね」等の声が聞こえてきました。

7月28日(金)の決勝で勝利、大会当初まったく予想もなかった甲子園出場。歓喜の優勝のなかで、これからどうなるのだろうかという一抹の不安が心をよぎりました。24年の歴史、同窓生5000名弱の状況で甲子園という大舞台を迎えることができるのだろうか、選手達が十分に力が発揮できる準備ができるのだろうか。

不安は杞憂に終わりました。28日夜遅くまで大野会長が、明日からの募金計画を建てられました。29日からは連日夜遅くまで、朋友館に三役の方を中心に集まれ、同窓会組織をフル回転されました。このエネルギーは母校を思う心、後輩を思う心からほとばしりたものであると思います。圧巻は、8月5日(土)に福岡地内を1軒1軒回って町民の皆様の支援を得たいと提案されたことでした。まだ、そんなエネルギーがどこにあるのだろうか、若い同窓会だからできるのだとただ驚きと感謝するのみでした。暑い日でしたが、朝昼晩の3班に分けて募金活動をされました。

お陰で甲子園では誰はばかりことなく、大きな声で校歌を歌うことができ、生徒達はおおいに自信を持つことができました。県予選が始まり1勝1勝と勝ち抜いていくごとに、応援スタンドの同窓生の皆さんの姿が増えてきました。このような積み重ねが同窓生の心が一致することに繋がったものと思います。ただ、感謝するのみです。



夢の舞台で 全力疾走



甲子園初出場!!



第88回全国高校野球選手権大会

1回戦（阪神甲子園球場）前田一藤林

福岡	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
福井商	4	0	1	1	0	1	0	1	X	8



・2006年8月7日(月)

橘高岡市長も
アルプス席から応援!



おめでとう! そして、ありがとう!

4回生 浅地 隆佳

8月7日の福井商業高校戦の日、全国各地や世界中にバラバラになっている同窓生が、この時まさに甲子園出場によって、心を一つにしたのです。鮮やかな緑色に染まったスタンドには、全国からたくさんの応援が駆けつけ、そして、行くことができない人々も遠い空を眺めながら、出場を祝い応援していたことでしょう。言い換えれば『全卒業生の大同窓会』であったのです。

たくさんの方が、野球部の活躍により元気をもらい、高校時代の昔話で笑顔になり、仲間の近況報告の話で勇気をもらったかと思えます。そして、あらためて福岡高校同窓生であることを誇りに思う自分を実感しています。

野球部の皆さん、すばらしい機会をありがとう。そして、これからもますます盛り上がる楽しい同窓会となりますように。

特集

20年ぶり

第2回生 同窓会

平成18年8月13日(日)高岡市の平安閣にて、第2回生の同窓会が開催され、約100名が20年ぶりの再会に時間を忘れ歓談を楽しみました。

卒業後、進学したり就職したり各々の道を歩き始めたのはつい先日のことのようなのに、月日の経つのは本当に早いものです。

当日「私変わったって言われるかしら?」「当時のあこがれの君は来るのかしら?」と期待や緊張に胸をドキドキさせながら、会場に向かったのは私だけではないはず。エレベータの扉が開けば、各クラスの男女幹事が受付に座っていました。「元気!変わってないね」「久しぶり~」と懐かしい声が飛び交っています。

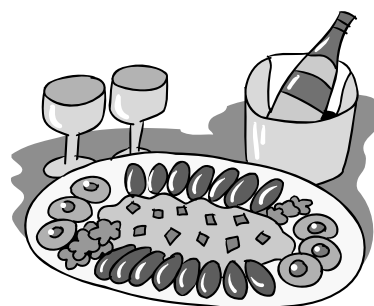
そして、オープニングはスペシャルゲストとして、学年主任や担任、教科を受け持ってくださいました先生方がスポットライトの中から登場!会場内は歓声と拍手喝采。会の進行が進むに連れて、様々な余興にどんどん賑わいが増していきます。校舎や遠足、部活動などの懐かしい写真の数々のスライドショー、また同級生同士で結婚したカップル達の馴初めなどのインタビュー、先生との思い出話など笑い声が絶えません。

最後は全員で校歌の大合唱。笑いあり感動ありで、2次会が終わっても3次会が終わっても名残惜しくて、皆なかなか帰ろうとしませんでした。高校時代に戻り、同じ時間同じ場所で過ごした友の懐かしい心地よさに癒された1日でした。

米沢 尚美

2回生の同窓会以来、発足した掲示板です。

<http://fukuoka-no2.1616bbs.com/bbs/fukuoka-no2.html>



第21回 同窓会総会 & 懇親会



昨年の8月17日(木)第21回同窓会総会が福岡高校セミナーハウス「朋友館」にて開催されました。総会に先立ち吉田先生の永年勤続表彰が行われました。

総会は、議事が滞りなく進行し、役員改選では、監査の西野 隆史さん(1回生)に替わって新たに赤尾 繁樹さん(8回生)が監査として承認されました。

8月17日 第21回同窓会総会が開かれた。

私は、他の同窓会幹事の仲間と一歩先に来て、半年ぶりに再会する友達の顔を思い浮かべながら朋友館へと向かい、そして皆のことを待った。

久しぶりに会う先生方、友人達の変わらない元気な姿に、半年前の高校生の自分たちにタイムスリップしたような気分になった。

私たちは楽しかった高校生活の思い出話に盛り上がり、そして懐かしい気分になっていた。

やがて総会が始まった。今年は野球部が甲子園初出場という偉業を成し遂げてくれたため、報告すべき事がたくさんあった。私は、その総司会を任された。同窓会役員の方々、校長先生や他の先生方の前での司会ということもあり、かなり緊張したと同時に久しぶりに再会した友達の前だったのでとても照れくさかった。

総会も無事終了し、私たちは1階へと場所を移した。再び、それぞれの進路に進んだ旧友たちと高校時代の思い出話や現況を報告しあい、そしてあの頃と全く変わっていない(でもちょっと大人になった?)仲間たちと写真を撮りあった。

予定されていた2時間という時間はあっという間に過ぎ去っていった。

「また、会おうね。」そう言葉を交わし、福岡高校を後にしていく仲間を見送っていると、胸に熱いものが込み上げて来た。短い時間ではあったが、彼等と再び同じ時間を共有する事が出来、改めて福岡高校をとても誇りに思えた。そして福岡高校同窓生で本当に良かったとしみじみ感じた。

常任幹事 樋口 千夏(21回生)



県大会 優勝!!

県大会の決勝を見て

8回生 赤尾 繁樹

7月28日(金)、後輩たちの快挙に富山市民球場に車を走らせました。試合開始には間に合わなかったためラジオをつけて聞きながら向かいました。4点ビハインドという状況で球場にたどり着き、数年来、顔も合わせてなかった先輩、同級生、後輩たちと一喜一憂しながら応援をしました。甲子園への出場が決まった瞬間、みんなと肩を組んで一緒に校歌を歌いました。

後輩たちのがんばりは、私たちが福岡高校の同窓生でよかったと改めて感じさせるとともに、最近考えることのなかった学生時代を思い出させる懐かしさを運んでくれました。



甲子園 出場決定!!



決勝	砺波工業	5-6	福岡							
砺波工	4	0	0	0	0	1	0	5		
福岡	0	0	4	1	1	0	0	0	X	6

夏の募金活動

11回生 藤村 充邦

「こんにちわー、福岡高校のOBのものですがー!」・・・「もしかして甲子園のやつけえ?」2006年の真夏の炎天下での募金活動。

常任幹事にもかかわらず、卒業して十何年もたつのに一度も幹事会などに参加もしていなかった私が、真夏の暑い中お茶一本しかあたらないようなボランティア活動をしていた。「最初で最後やねー!」必ずそんな声が返ってくる。思いもよらぬ甲子園出場という快挙だったため、そういう答えが多かったのだろう。しかし、ものすごく反響がいい!私もそのうちの一人だったのだろう。富山県で県立かつ普通科のみの高校が、甲子園に出場するのは初めてのことだそう。

地元の温かい人たちの期待を受け、最初で最後と言わず、もう一度甲子園出場を果たしてほしい。

甲子園出場がもたらす活気

14回生 高田 洋平

4年前に、創立20周年のイベントがあったときも、私は活動に参加させていただいた。当時は集まる人数もあまり多くなく、セミナーハウス建設のための募金活動に苦労した。しかし、今回の甲子園出場という大きなイベントが、多くの福岡高校の同窓生を集め、同窓会の活動を活発にしてくれたことは間違いない。これをきっかけに、母校のために力を注いでくれる同窓生が増えてくれることを望みたい。



夢の実現

野球部OB会長 中川 謙承



私達第1期生と同じく、当時高校1年生だったK・Kコンビ、清原・桑田を擁したPL学園が夏の甲子園を制した昭和58年、富

山県立福岡高等学校野球部は誕生しました。

「君達、まさか硬式の野球部を創るつもりじゃないだろうね？」

これが入学して間もない放課後、中学時代野球部に在籍した面々が、新品の硬式用グローブ・バット・ボール（勿論自前の）を抱え、グラウンドで心地よい金属音を響かせ、時には「痛っ」、「痺れたー」と叫びながら汗を流していた時に、先生方から最初にかけられた言葉でした。

「もちろんそうです！」

あれから24年目の夏、当時の夢がすばらしい監督・選手達によって現実のものとなりました。野球部OBのみならず、同窓生、地域の方々にも大きな喜び・感動を与えたことと思います。

平成18年8月7日、阪神甲子園球場1塁側アルプススタンド。試合前のシートノックで選手達がグラウンドに飛び出した瞬間…。生涯忘れることはないでしょう。

最後に、応援バスで甲子園へ向かう途中、某サービスエリアで久しぶりに再会した同級生が、ポツリとつぶやいた一言を。

「福岡の卒業生でよかった〜。」

1回戦	中央農業	0-17	福岡
2回戦	福岡	6-0	水橋
3回戦	高岡商業	1-3	福岡
準々決勝	福岡	14-6	新湊
準決勝	福岡	19-0	富山

同窓会の活動

7月28日(金)	県大会優勝 甲子園出場実行委員会の結成	8月5日(土)	同窓会有志による福岡地域の募金活動
7月29日(土)	同窓会役員会 同窓会常任幹事・幹事緊急招集	8月6日(日)	第88回全国高等学校野球選手権大会開会式
7月30日(日)~	趣意書発送準備 同窓生約5,000人に発送	8月7日(月)	第2日 第2試合 福岡1-8福井商業 甲子園球場、福岡高校等において応援
8月1日(火)	同窓会常任幹事・幹事会 (取り組みについて協議)	8月9日(水)	同窓会役員会 (募金のお礼、同窓会総会について協議)
8月2日(水)	出場選手壮行会、出発式	8月17日(木)	同窓会常任幹事・幹事会 同窓会総会(甲子園出場について報告)
8月3日(木)	組み合わせ抽選会 →試合が7日(月)第2試合に決定		

学校の近況



平成18年度 部活動成績

陸上競技部

- 第59回富山県陸上競技対抗選手権大会
男子槍投げ 第5位 又川 卓也 (33H)
(北信越大会出場)
- 県高校新人大会陸上競技
女子槍投げ 第6位 楠田 千明 (13H)
男子槍投げ 第5位 村田 淳一 (22H)

野球部

- 第88回全国高等学校野球選手権富山大会
優勝 (甲子園大会出場)
- 日本学生野球協会優秀選手表彰 萩原 恭介 (34H)

卓球部

- 第34回北信越高等学校卓球選抜選手権大会出場
北川 知芳 (14H)

吹奏楽部

- 全日本吹奏楽コンクール富山県大会
高等学校大編成の部 金賞
- 第30回全日本アンサンブルコンテスト 富山県高岡支部大会
フルート三重奏 金賞

その他

- ☆水 泳☆
- 平成18年度富山県高等学校総合体育大会水泳競技

- 女子200m個人メドレー 1位 橋田 祐里 (21H)
- 女子400m個人メドレー 2位 橋田 祐里 (21H)
(北信越総合体育大会・全国高校総体出場)
- 第59回富山県民体育大会水泳競技 一部少年A
女子200m個人メドレー 1位 橋田 祐里 (21H)
- 女子200m平泳ぎ 1位 橋田 祐里 (21H)
- 女子400mリレー 1位 高岡地区
橋田 祐里 (他3名)
- 女子400mメドレーリレー 1位 高岡地区
橋田 祐里 (他3名)
- 富山県高校新人水泳競技大会
女子100mバタフライ 1位 橋田 祐里 (21H)
- 女子50m自由形 1位 橋田 祐里 (21H)

☆英 語☆

- 国際理解・国際協力のための高校生的主張コンテスト富山県大会
最優秀賞 森川 葉 (13H)
(同全国大会出場)
- 第7回英語スピーチコンテスト (育英センター主催)
スピーチ部門最優秀賞 沢田 未来 (21H)
- 富山県英語プレゼンテーションコンテスト
スピーチ部門 3位 沢田 未来 (21H)
- レシテーション部門 奨励賞 池田 淑恵 (14H)
- リサーチ部門 奨励賞 永川可奈恵 (21H)
柴田久美子 (21H)
中川 智絵 (21H)
野澤 麻衣 (21H)

平成18年度 同窓会役員名簿

役職名	氏名	回	組
会長	大野 洋 靖	1	5
副会長	立 川 証	1	4
副会長	伊藤 雄 一郎	2	2
副会長	板 谷 直 子	4	2
監 査	米 辺 喜 代 美	1	4
監 査	田 沢 尚 美	2	4
監 査	赤 尾 繁 樹	8	3
常任幹事	長 谷 川 格	1	5
常任幹事	宮 田 俊 孝	2	1
常任幹事	牧 野 友 紀	3	3
常任幹事	浅 地 隆 佳	4	6
常任幹事	中 村 裕 二	5	1
常任幹事	塚 原 映 生	6	3

常任幹事	金 森 剛 生	7	3
常任幹事	松 本 信 幸	8	3
常任幹事	福 江 厚 啓	9	2
常任幹事	嶋 田 志 保	10	2
常任幹事	藤 村 充 邦	11	5
常任幹事	今 井 泰 則	12	6
常任幹事	山 川 雄 亮	13	5
常任幹事	高 田 洋 平	14	1
常任幹事	角 千 絵 美	15	2
常任幹事	加 藤 真 希 子	16	3
常任幹事	下 村 肇	17	5
常任幹事	二 塚 大 地	18	2
常任幹事	土 肥 浩 樹	19	1
常任幹事	長 田 亜 沙 美	20	4
常任幹事	樋 口 千 夏	21	5

編集後記

今年もはや卒業式のシーズンですね。みなさん、どの様な一年でしたか？福岡高校甲子園初出場は今まで記憶に新しいですが、生徒や先生、OB・OG、そして地域の方々が一一致団結し、気持ちがこもった熱い出来事でしたね。今年暖冬なのは、この“甲子園熱”が覚めやらないせいかも…。

事務局だより

- ◇表紙写真及び本文中(甲子園関連)の写真は滝写真館様より提供いただいたものです。
- ◇福岡高等学校のホームページを開設しています。ご利用ください。なお、同窓会ページの内容は多くの意見をどんどん取り入れて、内容を充実させたいと考えています。
- ◇会報をホームページにも掲載しています。

<http://www.fukuoka-h.tym.ed.jp>

注意 同窓会事務局と名乗り、住所、進路等の問い合わせをする業者があります。ご不審な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

〒939-0127 福岡高等学校内 同窓会事務局 電話(0766)64-5275 FAX(0766)64-5276

ホームページ URL <http://www.fukuoka-h.tym.ed.jp>

E-mail dousou@fukuoka-h.tym.ed.jp